

6.1.6 人と自然との触れ合いの活動の場

1. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

6.1.6 人と自然との触れ合いの活動の場

1. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

(1) 調査結果の概要

① 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布

イ. 文献その他の資料調査

(イ) 調査地域

主要な人と自然との触れ合いの活動の分布に係る情報を適切かつ効果的に把握できる範囲として、対象事業実施区域周辺として図6.1.6-1に含まれる範囲とした。

(ロ) 調査地点

調査地域と同じとした。

(ハ) 調査期間

入手可能な最新の資料とした。

(ニ) 調査方法

防府市の公式ホームページ等により、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布に係る情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

(ホ) 調査結果

調査地域における人と自然との触れ合いの活動の場の分布及びその概要は、図6.1.6-1及び表6.1.6-1のとおりである。

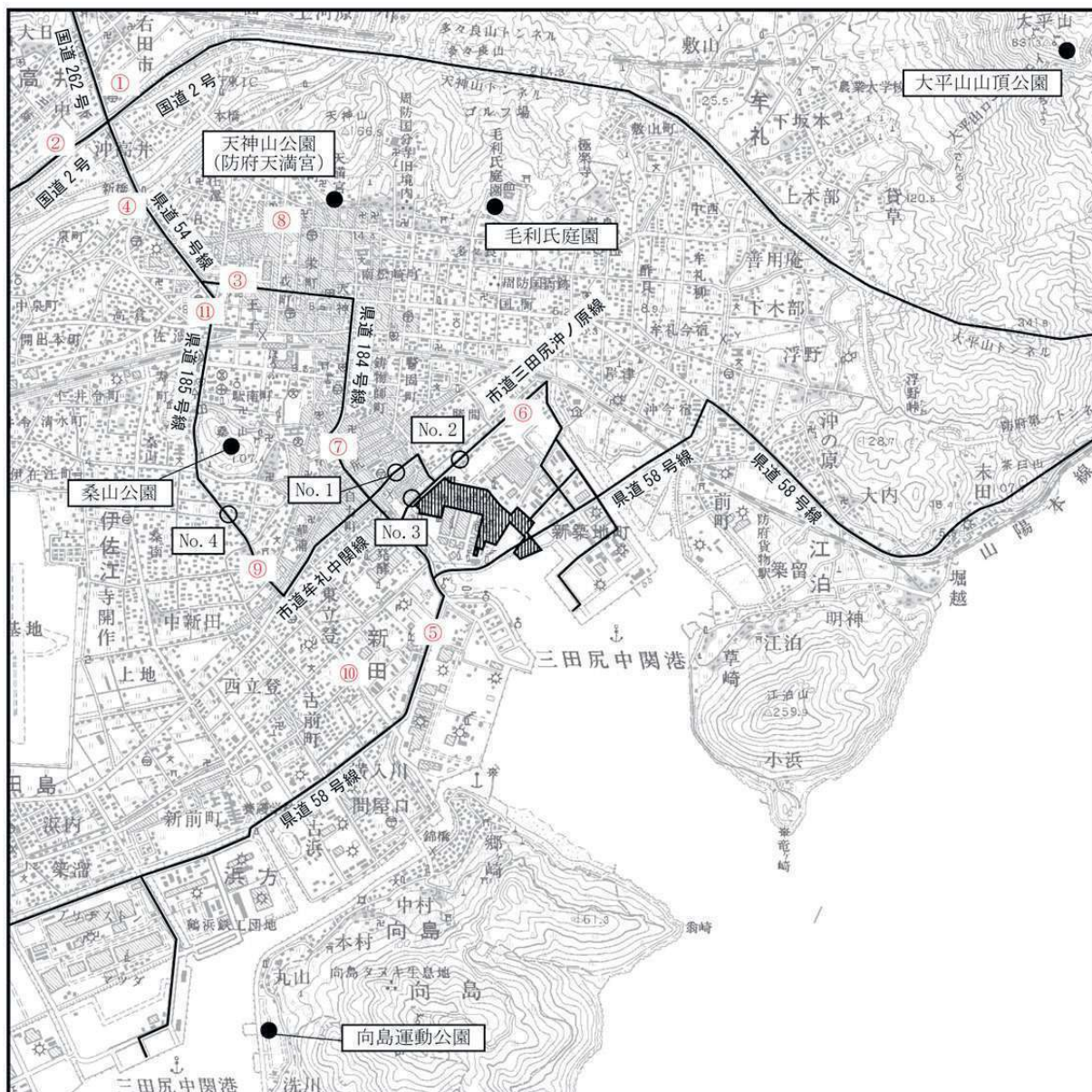


図 6.1.6-1 人と自然との触れ合いの活動の場及び交通量調査地点

凡 例

- 対象事業実施区域
- 事業関連車両の主要な運行経路
- 交通量の調査地点（予測地点；No. 1～No. 4）
- ①～⑪ 交通量センサス調査地点（予測地点；③, ⑤, ⑦）
- 主要な人と自然との触れ合いの活動の場



0 1 2km
1:50,000

表6.1.6-1 人と自然との触れ合いの活動の場の概要

名 称	地 域	方 向 距 離	利用状況	利用形態
天神山公園（防府天満宮）	防府市	北西 約 3.0 km	日本三天神の一つで防府市を代表する観光地、防府天満宮の背後にあたる天神山一帯に広がるこの公園は、春はウメ・サクラの名所として、その香りや彩りを楽しめる。	野 外 レ ク リ エーション
毛利氏庭園	防府市	北 約 2.0 km	旧藩主毛利氏の邸宅で、国指定の名勝。現在邸宅の一部は、毛利博物館として毛利氏に伝わる宝物を所蔵、展示している。	野 外 レ ク リ エーション
大平山山頂公園	防府市	北東 約 5.0 km	防府市最高峰大平山の山頂に整備されている公園で、遊具などを設置し、防府市のレクリエーションスポットになっている。	野 外 レ ク リ エーション
向島運動公園	防府市	南西 約 4.0 km	向島西側の海岸沿いに位置し、全天候型テニスコートや、野球・ソフトボール・サッカーなどができる多目的広場がある。	スポーツ
桑山公園	防府市	西 約 2.0 km	桑山は山全体が公園になっており、遊歩道がめぐり、四季を通じて豊かな自然が楽しめる。4月には花見を楽しむ市民でにぎわう。	野 外 レ ク リ エーション

出典：「防府市HP（平成27年12月現在）等」より作成

ロ. 現地調査

(イ) 調査地域

「文献その他の資料調査」の結果、主要な触れ合い活動の場として選定した5地点を対象とした（図6.1.6-1）。

(ロ) 調査地点

調査地域と同じとした。

(ハ) 調査時期

平成27年7月13日、11月6日

(ニ) 調査方法

防府市おもてなし観光課、並びに、文化・スポーツ課に聞き取り調査を行った。

(ホ) 調査結果

対象5地点のうち桑山公園を除く4地点については、利用実態が把握されており、その利用状況は表6.1.6-2のとおりである。

なお、利用者数の調査が実施されていなかった桑山公園については、聞き取り情報によると、利用のピークは春の花見シーズンだが、年間を通じて近隣住民のウォーキングのコースとして広く利用されているとのことである。

表6. 1. 6-2 主要な触れ合い活動の場の利用状況

(単位：人)

項目	天神山公園 (防府天満宮)		毛利氏庭園 (毛利博物館含む)		大平山山頂公園		向島運動公園	
	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年	平成25年	平成26年
1月	254, 222	248, 277	3, 617	3, 376	977	1, 803	6, 910	9, 378
2月	53, 706	50, 451	5, 021	3, 554	—	—	5, 434	7, 148
3月	33, 163	35, 304	7, 612	6, 160	1, 763	1, 610	12, 151	14, 395
4月	16, 049	16, 598	4, 607	4, 650	2, 289	1, 322	11, 095	14, 522
5月	20, 634	20, 084	6, 503	6, 604	8, 734	9, 267	9, 766	12, 427
6月	14, 748	16, 418	3, 653	4, 131	1, 225	1, 338	7, 835	10, 254
7月	12, 685	14, 185	2, 089	2, 983	602	166	8, 616	10, 219
8月	65, 080	57, 344	3, 072	3, 420	1, 666	—	8, 169	10, 034
9月	18, 954	24, 393	3, 616	3, 964	2, 023	—	8, 075	9, 095
10月	26, 411	28, 761	4, 887	5, 024	1, 759	—	6, 654	7, 872
11月	202, 261	209, 315	14, 040	19, 897	1, 234	—	6, 625	8, 130
12月	20, 379	17, 609	3, 664	2, 250	336	—	6, 369	7, 269
合計	738, 292	738, 739	62, 381	66, 013	22, 608	15, 506	97, 699	120, 743
備考 (イベント など)	梅、桜 初詣、節分祭、梅まつり、 勸学祭、御誕辰祭、御神幸祭、 御神幸祭、菊花展		桜、つつじ、さつき、もみじ 企画展「お雛さま」・「国宝」		桜、つつじ 納涼音楽祭、観月会、秋の公園まつり		桜 全天候型フェスコート、野球場、 多目的広場	

注：1. 表中の「—」は、事実のないものを示す。

2. 大平山山頂公園については、大平山ロープウェイの利用実態であり、以下の事情により利用実態のない月がある。

- ・平成25年2月、平成26年2月：定期点検のため運休
- ・平成26年7月以降：平成26年7月に実施された法定点検の際、問題が見つかり、平成26年8月以降は運休

出典：「防府市聞き取り調査結果」より作成

② 人と自然との触れ合いの活動の場近傍の資材等の搬出入に用いる車両の運行経路

イ. 文献その他の資料調査

(イ) 調査地域

「主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布」調査の結果、選定した5地点及び対象事業実施区域周辺とした。

(ロ) 調査地点

道路交通センサスで調査が行われた対象事業実施区域周辺の11地点とした(図6.1.6-1)。

(ハ) 調査期間

道路交通センサスの最新データである平成22年調査結果を対象とした。

(ニ) 調査方法

道路交通センサスによる道路交通量に係る情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

(ホ) 調査結果

調査結果は、表6.1.6-3のとおりである。

表6.1.6-3 主要な触れ合い活動の場周辺の昼間（7～19時）の交通量

(単位：台/12h)

路線名	調査地点No.	平日自動車交通量	休日自動車交通量
一般国道2号	①	20,470	—
一般国道2号	②	15,552	—
主要地方道 防府停車場線	③	18,182	—
主要地方道 防府停車場線	④	27,134	—
主要地方道 防府環状線	⑤	11,037	—
主要地方道 防府環状線	⑥*	7,154	—
一般県道 三田尻港徳地線	⑦	7,379	—
一般県道 三田尻港徳地線	⑧	7,182	—
一般県道 防府停車場向島線	⑨	12,863	—
一般県道 防府停車場向島線	⑩	9,485	—
一般県道 防府停車場大藪線	⑪	11,102	9,289

注：表中の「—」は、観測実績のないものを示す。

⑥は現在、市道三田尻沖ノ原線に変更されている。

出典：「平成22年度道路交通センサス 一般交通量調査箇所別基本表」（国土交通省道路局、平成24年）より作成

ロ. 現地調査

(イ) 調査地域

資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に用いる主要な運航経路である市道牟礼中関線及び市道三田尻沖ノ原線並びに県道185号線とした。

(ロ) 調査地点

道路交通騒音・振動の調査地点と同じ主要な運航経路の4地点とした（図6.1.6-1）。

(ハ) 調査時期

道路交通騒音・振動調査と同じ平日、休日各1回（24時間連続）とした。

(ニ) 調査方法

道路交通センサスに準拠し、方向別・車種別交通量を把握した。

(ホ) 調査結果

調査結果は、表6.1.6-4のとおりである。

(2) 予測及び評価の結果

① 工事の実施

イ. 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行

(イ) 予測手法

資材及び機械の運搬に用いる車両の増加が主要な触れ合い活動の場へのアクセスに及ぼす影響について、平日昼間（7時～19時）の12時間交通量の変化から予測した。

a. 予測地域

資材及び機械の運搬に用いる車両の主要な運行経路は、一般県道三田尻港徳地線、一般県道防府停車場向島線等を使用する計画であることから、その沿道とした。

b. 予測地点

交通量現地調査地点4地点（No.1～4）に加え、道路交通センサス調査地点のうち、主要な触れ合いの活動の場へのアクセスルートである主要地方道防府停車場線・防府環状線、一般県道三田尻港徳地線のそれぞれ1地点（③、⑤、⑦）の計7地点（図6.1.6-1）とした。

c. 予測対象時期

予測対象時期については、資材及び機械の運搬に用いる車両の交通量が最大になる時期として、工事開始後16ヶ月目（図6.1.1.1-34参照）とした。

(ロ) 予測結果

予測地点における平日の資材及び機械の運搬に用いる車両の増加の割合は、表6.1.6-4のとおりであり、工事中において工事関係車両の交通量が最大になる工事開始後の16ヶ月目について、工事関係車両の占める割合は、最大で1.4%（70台）程度になる。

表6.1.6-4 予測地点における平日の交通量

予測地点	区 分	昼間（7時～19時）交通量（台/12h）				工事関係 車両の割合 （％）
		現 状	将 来			
		一般車両	一般車両	工事 関係車両	合 計	
市道 牟礼中関線 No.1	小型車	4,398	4,398	52	4,450	1.2%
	大型車	180	180	2	182	1.1%
	合 計	4,578	4,578	54	4,632	1.2%
市道三田尻 沖ノ原線 No.2	小型車	8,082	8,082	90	8,172	1.1%
	大型車	468	468	2	470	0.4%
	合 計	8,550	8,550	92	8,642	1.1%
市道三田尻 沖ノ原線 No.3	小型車	4,590	4,590	52	4,642	1.1%
	大型車	276	276	18	294	6.1%
	合 計	4,866	4,866	70	4,936	1.4%
一般県道 防府停車場向島線 No.4	小型車	14,208	14,208	46	14,254	0.3%
	大型車	768	768	6	774	0.8%
	合 計	14,976	14,976	52	15,028	0.3%
主要地方道 防府停車場線 ③	小型車	16,827	16,827	58	16,885	0.3%
	大型車	1,355	1,355	14	1,369	1.0%
	合 計	18,182	18,182	72	18,254	0.4%
主要地方道 防府環状線 ⑤	小型車	9,261	9,261	52	9,313	0.6%
	大型車	1,776	1,776	18	1,794	1.0%
	合 計	11,037	11,037	70	11,107	0.6%
一般県道 三田尻港徳地線 ⑦	小型車	6,721	6,721	58	6,779	0.9%
	大型車	658	658	14	672	2.1%
	合 計	7,379	7,379	72	7,451	1.0%

- 注：1. 交通量は、人と自然との触れ合いの活動の主な活動時間帯である昼間（7時～19時）における往復交通量を示す。
2. 一般車両交通量は、現地調査及び平成22年度道路交通センサスによる交通量である。
3. 一般車両将来交通量は、過去の道路交通センサスの結果から、近年の交通量に増加傾向は認められないことから、伸び率は考慮しないこととした。

(ハ) 評価の結果

a. 環境影響の回避・低減に関する評価

予測結果によると、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴う主要な触れ合い活動の場への影響は小さいものと考えられる。

なお、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴う主要な触れ合い活動の場への影響を可能な限り回避・低減するため、以下の措置を講じ、更なる影響の低減を図る。

- ・ボイラやタービン等の大型機器は、可能な限り工場製作組立とし、海上輸送を行うことで、工事関係車両台数を低減する。
- ・人と自然との触れ合いの活動の場の利用の多い休日は、可能な限り工事用資材等の搬出入は行わない。
- ・工事用資材等の搬出入は、可能な限り通勤時間帯などの車両が集中する時間帯を避け、車両台数の平準化を図る等の調整を徹底する。
- ・定期的に実施予定の会議において、上記の保全措置を工事関係者へ周知徹底する。

これらの環境保全措置を講じることにより、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴う主要な触れ合い活動の場に対する影響は、事業者の実行可能な範囲で低減が図られるものと評価する。

② 土地又は工作物の存在及び供用

イ. 資材等の搬出入

(イ) 予測手法

発電所関係車両の増加が主要な触れ合い活動の場へのアクセスに及ぼす影響について、昼間（7時～19時）の12時間交通量の変化から予測した。

a. 予測地域

発電所関係車両の主要な運行経路は、一般県道三田尻港徳地線、一般県道防府停車場向島線等を使用する計画であることから、その沿道とした。

b. 予測地点

交通量現地調査地点4地点（No.1～4）に加え、道路交通センサス調査地点のうち、主要な触れ合いの活動の場へのアクセスルートである主要地方道防府停車場線・防府環状線、一般県道三田尻港徳地線のそれぞれ1地点（③、⑤、⑦）の計7地点（図6.1.6-1）とした。

c. 予測対象時期

供用後における発電所から発生する発生する交通量は、表6.1.6-5のとおりであり、発電所関係車両の交通量が最大になる時期として、平日については発電設備の通常稼働時、休日については定期点検時とした。

表6.1.6-5 供用後における発電所から発生する交通量

（単位：台/日）

区分	通常稼働時交通量		定期点検時交通量	
	平日	休日	平日	休日
小型車	72	20	116	74
大型車	68	28	14	14
合 計	140	48	130	88

(ロ) 予測結果

予測地点における供用時の資材等の搬出入による車両の増加の割合は、表6.1.6-6のとおりであり、発電所関係車両の占める割合は、平日の最大で約1.4%（104台）程度、休日の最大で0.8%（28台）程度である。

表6.1.6-6(1) 予測地点における平日の交通量（通常稼働時）

予測地点	区 分	昼間（7時～19時）交通量（台/12h）				発電所関係 車両の割合 （％）
		現 状	将 来			
		一般車両	一般車両	発電所 関係車両	合 計	
市道 牟礼中関線 No.1	小型車	4,398	4,398	30	4,428	0.7%
	大型車	180	180	28	208	13.5%
	合 計	4,578	4,578	58	4,636	1.3%
市道三田尻 沖ノ原線 No.2	小型車	8,082	8,082	18	8,100	0.2%
	大型車	468	468	0	468	0.0%
	合 計	8,550	8,550	18	8,568	0.2%
市道三田尻 沖ノ原線 No.3	小型車	4,590	4,590	24	4,614	0.5%
	大型車	276	276	40	316	12.7%
	合 計	4,866	4,866	64	4,930	1.3%
一般県道 防府停車場向島線 No.4	小型車	14,208	14,208	18	14,226	0.1%
	大型車	768	768	0	768	0.0%
	合 計	14,976	14,976	18	14,994	0.1%
主要地方道 防府停車場線 ③	小型車	16,827	16,827	36	16,863	0.2%
	大型車	1,355	1,355	68	1,423	4.8%
	合 計	18,182	18,182	104	18,286	0.6%
主要地方道 防府環状線 ⑤	小型車	9,261	9,261	24	9,285	0.3%
	大型車	1,776	1,776	40	1,816	2.2%
	合 計	11,037	11,037	64	11,101	0.6%
一般県道 三田尻港徳地線 ⑦	小型車	6,721	6,721	36	6,757	0.5%
	大型車	658	658	68	726	9.4%
	合 計	7,379	7,379	104	7,483	1.4%

注：1. 交通量は、人と自然との触れ合いの活動の主な活動時間帯である昼間（7時～19時）における往復交通量を示す。
2. 一般車両交通量は、現地調査及び平成22年度道路交通センサスによる交通量である。
3. 一般車両将来交通量は、過去の道路交通センサスの結果から、近年の交通量に増加傾向は認められないことから、伸び率は考慮しないこととした。

表6.1.6-6(2) 予測地点における休日の交通量（定期点検時）

予測地点	区 分	昼間（7時～19時）交通量（台/12h）				発電所関係 車両の割合 （％）
		現 状	将 来			
		一般車両	一般車両	発電所 関係車両	合 計	
市道 牟礼中関線 No.1	小型車	3,378	3,378	24	3,402	0.7%
	大型車	54	54	4	58	6.9%
	合 計	3,432	3,432	28	3,460	0.8%
市道三田尻 沖ノ原線 No.2	小型車	9,462	9,462	30	9,492	0.3%
	大型車	198	198	8	206	3.9%
	合 計	9,660	9,660	38	9,698	0.4%
市道三田尻 沖ノ原線 No.3	小型車	4,818	4,818	20	4,838	0.4%
	大型車	114	114	2	116	1.7%
	合 計	4,932	4,932	22	4,954	0.4%
一般県道 防府停車場向島線 No.4	小型車	11,868	11,868	16	11,884	0.1%
	大型車	156	156	2	158	1.3%
	合 計	12,024	12,024	18	12,042	0.1%
主要地方道 防府停車場線 ③	小型車	14,919	14,919	28	14,947	0.2%
	大型車	112	112	4	116	3.4%
	合 計	15,031	15,031	32	15,063	0.2%
主要地方道 防府環状線 ⑤	小型車	8,211	8,211	20	8,239	0.2%
	大型車	147	147	2	149	1.3%
	合 計	8,358	8,358	22	8,380	0.3%
一般県道 三田尻港徳地線 ⑦	小型車	5,959	5,959	28	5,987	0.5%
	大型車	54	54	4	58	6.9%
	合 計	6,013	6,013	32	6,045	0.5%

- 注：1. 交通量は、人と自然との触れ合いの活動の主な活動時間帯である昼間（7時～19時）における往復交通量を示す。
2. 一般車両交通量は、現地調査及び平成22年度道路交通センサスによる交通量である。
3. 一般車両将来交通量は、過去の道路交通センサスの結果から、近年の交通量に増加傾向は認められないことから、伸び率は考慮しないこととした。
4. ③、⑤、⑦の3地点の現状交通量については、休日交通量が観測されていないことから、防府市域における道路交通センサスの平日交通量と休日交通量の比から休日交通量を算出した。

(ハ) 評価の結果

a. 環境影響の回避・低減に関する評価

予測結果によると、資材等の搬出入に用いる車両の運行に伴う主要な触れ合い活動の場への影響は小さいものと考えられる。

なお、資材等の搬出入に用いる車両の運行に伴う主要な触れ合い活動の場への影響を可能な限り回避・低減するため、以下の措置を講じ、更なる影響の低減を図る。

- ・定期点検時における資材等の搬出入は、可能な限り通勤時間帯などの車両が集中する時間帯を避け、車両台数の平準化等を図る等の調整を徹底する。
- ・人と自然との触れ合いの活動の場の利用の多い休日は、可能な限り資材等の搬出入は行わない。
- ・定期的に実施予定の会議において、上記の保全措置を発電所関係者へ周知徹底する。

これらの環境保全措置を講じることにより、資材等の搬出入に伴う主要な触れ合い活動の場に対する影響は、事業者の実行可能な範囲で低減が図られるものと評価する。

